

# 予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 9 月 補正 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

## 事業名 **新** 農場等バイオセキュリティ向上総合対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111 (内 2885)

E-mail: [c11449@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11449@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 補正要求額 39,946 千円 (現計予算額：0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	39,946	39,946	0	0	0	0	0	0	0
決定額	39,946	39,946	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・一昨年 9 月以降、県内 24 施設を襲った CSF は、野生いのししへも感染しており、現在 CSF ウイルスに感染した野生いのししは 1,000 頭を超えている。
- ・野生いのししの CSF 対策として、経口ワクチンの投与が実施されているが、いまだに陽性いのししが農場周辺で捕獲されており、また近隣国では、ワクチンのない ASF が猛威を振るい、いつわが国へウイルスが侵入し、ASF が発生してもおかしくない状況である。
- ・昨年 12 月、国が補正予算として CSF・ASF 対策を打ち出し、そのメニューの中に農場におけるバイオセキュリティを向上させる整備事業 (防鳥ネット、動力噴霧器等) が盛り込まれ、これに応募したところ事業が認められた。

### (2) 事業内容

- ・CSF 及び ASF の発生防止のために行う飼養衛生管理基準の遵守及びその取組の強化に向けた資機材等の整備に要する経費を補助することにより、農場のウイルス侵入防止を図り、以て農家の経営を支援する。

補助率：事業費の1／2以内

事業主体：(一社) 岐阜県畜産協会

事業内容：動力噴霧器の整備、防鳥ネットの設置、家畜の死体等を保管するための保冷库等

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・国 10/10 (消費・安全対策交付金)

### (4) 類似事業の有無

- ・無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	39,946	CSF・ASFの発生防止に向けた資機材等の整備に係る助成
合計	39,946	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略 (R1～5)
  - 2 健やかで安らかな地域づくり
    - (2)安らかに暮らせる地域
      - ④災害と危機事案に強い岐阜県づくり (CSF・ASF 対策の強化)

### (2) 国・他県の状況

- ・愛知県、静岡県、長野県等で同様の施設整備を実施

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

農場の施設等整備を支援し、今年度中に施設整備を完了することで、これらの農家の飼養衛生管理基準の遵守及び向上につなげることにより、養豚業の安定経営を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
						%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	

### ○指標を設定することができない場合の理由

飼養を継続している農家、経営再開に向け準備を進めている農家など、各農家の経営状況が異なるため、統一的な指標を示すことはできない。

### （前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

### （前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	C S F のまん延防止及びA S F の発生抑制に向け、国もC S F、A S F 対策を打ち出してきており、国費を活用した当事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) —	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) —	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 C S F 及びA S F ウイルスの農場への侵入は、今後も警戒の必要があり、侵入防止対策を強化、継続していく必要がある。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 畜産農家の経営持続のためには、施設整備による家畜伝染病発生防止対策が必要であり、今後も継続して安定的な経営が行われるよう、支援が必要である。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】